**情報提供書**

提出日：20　　年　　月　　日

情報提供書（概要）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ①件名(\*) | 例）〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇に関する分析支援（２０字程度を目安として記載してください。）　　　　　　　　　　　　 | 前回提出日（再提出時のみ） |
| 20　　年　　月　　日 |
| ②対象となる研究開発プロジェクト（番号を選択、複数選択可）(\*) | １．電気エネルギーを利用し大気CO2を固定するバイオプロセスの研究開発（加藤PM）２．大気中からの高効率CO2分離回収・炭素循環技術の開発（児玉PM）３．電気化学プロセスを主体とする革新的CO2大量資源化システムの開発（杉山PM）４．C4S研究開発プロジェクト（野口PM）５．冷熱を利用した大気中二酸化炭素直接回収の研究開発（則永PM）６．大気中CO2を利用可能な統合化固定･反応系（quad-C system）の開発（福島PM）７．“ビヨンド・ゼロ”社会実現に向けたCO2循環システムの研究開発（藤川PM）８．資源循環の最適化による農地由来の温室効果ガスの排出削減（南澤PM）９．産業活動由来の希薄な窒素化合物の循環技術創出―プラネタリーバウンダリー問題の解決に向け　　て（川本PM）１０．窒素資源循環社会を実現するための希薄反応性窒素の回収・除去技術開発（脇原PM）１１．非可食性バイオマスを原料とした海洋分解可能なマルチロック型バイオポリマーの研究開発（伊藤PM）１２．生分解開始スイッチ機能を有する海洋分解性プラスチックの研究開発（粕谷PM）１３．光スイッチ型海洋分解性の可食プラスチックの開発研究（金子PM）１４．全ての研究開発プロジェクト（計13件）が対象 |
| ③PM支援方策の概要(\*) | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇別紙１の「２．先導研究の内容（技術的な課題と解決手段）」の内容を要約して600文字程度で記入してください。 |
| ④解決できる課題・期待される成果(\*) | 〇〇における〇〇〇〇〇〇〇の解決、〇〇における〇〇〇〇〇〇〇の創出．．．（１００字以内としてください。） |
| ⑤想定活動規模 | 活動期間　○○年度～○○年度、○年○月～○年○月 |
| 活動費　○○万円 |
| 活動体制　○○○○（人数、活動機関別の役割等） |
| ⑥担当者 | 機関名（法人名）　　　　○○○株式会社 |
| （連絡先）所属部署　　　　　　　　○○○開発本部　○○研究所役職名　　　　　　　　　主任研究員氏　名　　　　　　　　　○○　○○住　所　〒　　　　○○県○○市○○１－２－３　　○○○株式会社○○研究所ＴＥＬ　　　　　　○○○○－○○○○－○○○○E-mail　　　　　　○○○○@○○○.○○.○○　 |

**※****本情報提供書については、秘密保持の義務を遵守した上で、イノベーション政策の発展のため、ムーンショット型研究開発制度に係る業務を行う関係府省及び研究推進法人に情報を共有することがあります。また、当機構におけるPM支援の公募等の実施に当たり、(\*)の一部又は全部を公開することがあります。**

**※当機構から、必要に応じて追加情報を確認することがあります。**

情報提供書（別紙１）

【PM支援の方策に関する具体的な情報】

＊以下の項目に沿って、数理・人文・社会科学等の活用によるプロジェクトマネージャー支援に関する情報提供内容を記載してください。(別紙１)に関しては、ムーンショット型研究開発事業の支援方策の検討等の参考にする以外は一切利用いたしません。

＊記載項目は、削除・追加しないでください。（青色文字で記載されている注意事項等は削除してください。）

＊原則６ページ以内（別紙部分含む。）でまとめてください。

①件名

「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇に関する分析支援」

２０字程度を目安として記載してください。

②対象の研究開発プロジェクト（番号を選択、複数選択可）

１．電気エネルギーを利用し大気CO2を固定するバイオプロセスの研究開発（加藤PM）

２．大気中からの高効率CO2分離回収・炭素循環技術の開発（児玉PM）

３．電気化学プロセスを主体とする革新的CO2大量資源化システムの開発（杉山PM）

４．C4S研究開発プロジェクト（野口PM）

５．冷熱を利用した大気中二酸化炭素直接回収の研究開発（則永PM）

６．大気中CO2を利用可能な統合化固定･反応系（quad-C system）の開発（福島PM）

７．“ビヨンド・ゼロ”社会実現に向けたCO2循環システムの研究開発（藤川PM）

８．資源循環の最適化による農地由来の温室効果ガスの排出削減（南澤PM）

９．産業活動由来の希薄な窒素化合物の循環技術創出―プラネタリーバウンダリー問題の解決に向け

　　て（川本PM）

１０．窒素資源循環社会を実現するための希薄反応性窒素の回収・除去技術開発（脇原PM）

１１．非可食性バイオマスを原料とした海洋分解可能なマルチロック型バイオポリマーの研究開発

（伊藤PM）

１２．生分解開始スイッチ機能を有する海洋分解性プラスチックの研究開発（粕谷PM）

１３．光スイッチ型海洋分解性の可食プラスチックの開発研究（金子PM）

１４．全ての研究開発プロジェクト（計13件）が対象

③PM支援方策の概要

＊**上記プロジェクトの研究開発の加速や社会実装に向けて、どのようなプロジェクトマネージャーの支援方策が考えられるか、具体的に記述してください。**

＊上記の記述において、数理・人文・社会科学等の研究者や専門人材が特に貢献できる理由があれば、わかりやすく説明してください。

＊必要に応じて、図、写真、グラフ等を利用して頂いても結構です。

＊提案する方策に関して、情報提供者自らが有する実績や経験があれば、簡潔に記してください。

④解決できる課題・期待される成果

＊プロジェクトの研究開発の加速や社会実装に向けて、**提案する方策によりどのような課題が解決でき、どのような成果が期待されるかを、**可能な範囲で記述してください。

＊必要に応じて、図、写真、グラフ等を利用して頂いても結構です。

⑤想定活動規模

（１）活動期間

＊提案する支援方策を実施するにあたり、想定される活動期間をご記載ください。最長2029年度までとなります。2年間を超える場合、当初契約は2022年度までとなり、対象プロジェクトの進捗状況等を踏まえ、延長又は見直し、中止等を行うこととなります。

（２）活動費

＊提案する支援方策を実施するにあたり、想定される活動費を記載してください。なお、本RFIでは数十万円～二千万円/件 程度の内容を想定しています。総額二千万円以上のご提案も可能ですが、実際に活動する場合には、初年度は実現可能性を見極めるため基本的には小規模から開始します。

＊可能であれば、人件費、旅費等の科目内訳をご記載ください。おおよその概算で結構です。

（３）活動体制

＊提案する支援方策を実施するにあたり、人数、活動機関別の役割等の想定される体制を可能な範囲で記入してください。現時点での想定で構いません。